

## 第5回総合計画策定幹事会概要

|   |   |                            |  |
|---|---|----------------------------|--|
| 日 | 時 | 平成20年10月30日(木) 午前9時～10時15分 |  |
| 会 | 場 | 庁議室                        |  |
| 出 | 席 | 者                          | 勇幹事長、筒井幹事、加藤幹幹事、岨中幹事、山本勝幹事、入江幹事、中村好幹事、山本芳幹事、田内幹事 |

### [議事]

#### 1 第5次草津市総合計画の人口推計(案)について

事務局から説明。

##### 《意見等》

- ・ 社会増も加味したものか。
- ・ 5歳ごとに区切って推計をしているものであるが、学生は4年間しか在住しないのにどうカウントしているのか。
- ・ 各計画のコーホート推計による検証はできないか。第1次総合計画、第2次総合計画で計画人口と実際の人口に差が出ている。第1次総合計画の数値をもってコーホート推計したら、より近い数値になるのでは。こういう点の検証は行った方が良いのではと思いますが。1ha以上の開発は宅地開発効果による加算に入れないのか。
- ・ 宅地開発効果の資料を見ていると、調整区域の開発(都市計画法第34条第8号の3に該当するものばかりである。平成16年に条例化しており15年度以前は開発申請はされていない。つまり平成12年から平成17年には含まれていない。このことから、1ha以上の調整区域内の開発も含まなければいけないと考える。
- ・ 上水道の第4次拡張事業は平成22年に認可の更新が生じる。庁内的に人口予測を多めにした方が有利なのか、少なめにした方が有利なのか考えておく必要がある。水道は人口が減少すると水利権の取り合いで減少するため、多少、多目の方が好ましい。
- ・ 過大投資になってはいけない。

#### ◆世帯数について

- ・ 県の計画ではどのように推計されているのか。
- ・ 人口推計と同じく立命館大学の学生を除く必要があるのでは。
- ・ 世帯数が与える影響は大きいのか。福祉などが関係してくるのでは。

##### 《議論の結果》

ベースはコーホート(立命館大学学生を除く)推計した128千人とする。

これに1ha以上の調整区域の宅地開発を加味する。

次回幹事会(11月13日木開催)で本日の意見を踏まえデータを整理して再度協議を行う。

## 2 その他

### 第5次草津市総合計画策定に向けての市民意識調査結果について

事務局から説明。

《意見等》

特になし。